

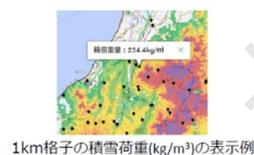
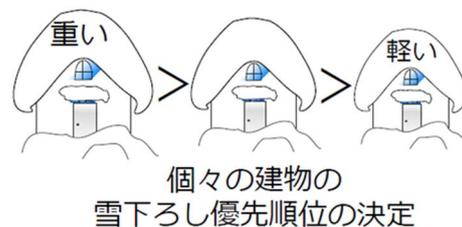
令和 7 年 5 月 28 日  
都市局国際・デジタル政策課

## 3D 都市モデル PLATEAU と防災科研が連携 ～防災 DX の加速に向けたプロジェクトを推進します～

都市デジタルツインの実現を目指す Project PLATEAU では、これまで、浸水シミュレーション等の実施を通じ、防災分野での解決策を各地で提供してきました。

今般、こうした防災 DX の取組を加速すべく、国土交通省都市局と国立研究開発法人防災科学技術研究所（防災科研）が連携して、防災・災害対応に寄与する新たなシステム環境構築を目指して以下のプロジェクトを開始します。

### 被災現場支援ツール



### 被災現場支援ツールの開発

画像提供：防災科研

内閣府 SIP 施策<sup>※</sup>と連携し、災害救助時に救助員が、PLATEAU データを現場で参照することで、被災前の家屋等の状況を把握することのできる被災現場支援ツールを一部地域で実装します。（上記左図）

※ <https://www.8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/sip/>

### 除雪優先度算出システムの開発

気象データや建物形状などの科学的な根拠に基づいた除雪優先度の情報を参照することで、より適切かつ効率的な除雪計画の策定および除雪作業を支援するシステムを開発します。（上記右図）

### PLATEAU 全国会議での発表

2025 年 6 月 2 日に開催される「PLATEAU 全国会議」において、現在の開発状況や今後の取組について、防災科研先進防災技術連携研究センター研究総括の伊勢正氏が登壇して解説を行います。（イベントページ：<https://ascii20250602.peatix.com/>）

#### <問い合わせ先>

都市局 国際・デジタル政策課 十川、細萱  
電話 代表：03-5253-8111(内線 32202、32237)  
直通：03-5253-8422



<Project "PLATEAU">

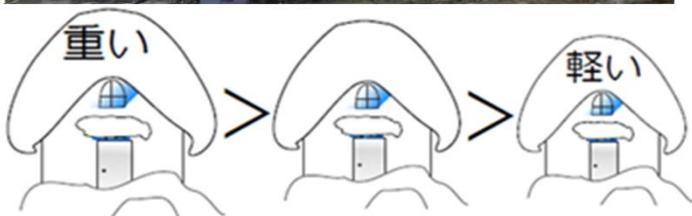
ウェブサイト：[www.mlit.go.jp/plateau/](http://www.mlit.go.jp/plateau/)

✉：@ProjectPlateau

## UC25-01 豪雪地帯の建築物における除雪優先度算出システム及び被災現場支援ツールの開発（雪研スノーイーターズ）

対象地域：新潟県長岡市、北海道札幌市

被災現場支援ツール



個々の建物の  
雪下ろし優先順位の決定



1km格子の積雪荷重(kg/m<sup>3</sup>)の表示例  
画像提供：防災科研



LOD2データ利用3D表示例

 Point

- 建築物の屋根雪下ろし優先度算出システムの開発と被災現場での活動を支援する被災現場支援ツールを社会実装
- 3D都市モデルを活用し、屋根雪の重量推定による除雪作業の効率化と被災前後比較による迅速な状況把握を実現

## 解決する課題

- 少子高齢化により除雪の担い手が不足している社会情勢に加え、気候変動の影響で湿雪の局地的な豪雪が頻発しており、従来の経験だけでは適切な除雪判断が困難
- 豪雪や震災などの自然災害では、安全確保や捜索活動を行うため、被災前の状況を把握することが重要

## スコープ

- 3D都市モデルが持つ建築年、建物形状の属性情報と広域積雪荷重情報を組み合わせ、積雪荷重リスクをリアルタイムに可視化し、個々の建物の屋根雪の除雪優先度を予測する除雪優先度算出システムを開発する
- 被災現場支援ツールを改修し、ARで現実世界に3D都市モデルを重ねることで被災前の建物の状況に加え、除雪優先度や支障物（消火栓や融雪溝）の情報を提供する

## ソリューション

- 気象データや建物形状などの科学的な根拠に基づいた除雪優先度の情報を参照することで、より適切かつ効率的な除雪計画の策定および除雪作業を支援する
- 除雪優先度や支障物などの情報を追加した被災現場支援ツールにより、地方公共団体等による被災現場での状況把握や捜索活動等の活動を支援する